

農山漁村地域整備計画における事後評価

- 1 整備計画名：第5期あいち食と緑の森林基盤整備事業計画
- 2 整備計画年度：令和4年度～令和6年度（3箇年）
- 3 事後評価年度：令和7年度

項目	評価の内容
①交付対象事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県産木材の生産促進を図るため、効率的な木材生産に必要な路網を整備した。また、林道施設の点検診断、保全整備を行うことにより林道の長寿命化を図った。 ・愛知県森林公園や愛知県民の森において、来園者が気軽に林内を散策し、森林環境を直接体験できるよう除伐や刈り払い、森林調査を実施した。 ・海上の森において、来訪者が快適に林内を散策できるよう適切な森林整備を実施し、市民参加による森林保全活動のさらなる推進を図った。 ・スギ・ヒノキの人工林に対し花粉発生源対策として立木の伐倒、花粉症対策苗木の植栽を行い、花粉の少ない森林への転換を図った。
②事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・路網整備に伴い路面状況が改善し、森林へのアプローチ時間を短縮することができた。 ・森林整備及び案内標識等の整備により、快適に林内を散策できるようになり、利用者の増加が促進された。 ・森林整備等を行うことにより、海上の森における企業連携等による森林保全活動面積が増加した。 ・スギ・ヒノキの人工林に対する花粉発生源対策が図られ、花粉の少ない森林への転換が図られた。
③成果目標の目標値の実現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・路網整備が進み路面状況が改善し、森林へのアプローチ時間が6分/kmから3分/kmに短縮され目標を達成した。また、林道橋梁について点検診断を適切に実施し、対象施設に対して100%実施し目標を達成することができた。 ・令和6年度の森林公園利用者数は目標の111万人に対して123万人であり110%の実績であった。また、令和6年度の県民の森利用者数は目標の38万人に対して24万人であり、63%の実績であった。この原因は、森林整備の不備というより、レストランの休業や施設の老朽化などによる宿泊施設等の利用減によるものでやむを得ないと考えている。 ・森林整備等を実施したことにより、海上の森における企業連携等による森林保全活動面積は目標の5haに対し5haの実績となり、計画に対し100%となった。 ・花粉発生源対策をすすめたことにより、目標18.53haに対し16.28haの森林について転換が図られ、目標に対し88%の達成率となった。面積の減少は、事業実施時の調整及び精査によるものである。
④今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も路網整備や林道施設の長寿命化対策を進めることで、県産木材の生産と利用の促進を図る。 ・引き続き、森林公園、県民の森の施設管理を適切に進めることにより、利用者にとって魅力ある施設とし、利用者数の増加を目指す。 ・海上の森における企業連携等による森林保全活動面積について目標を達成したため、本計画をもって当該事業を完了とする。 ・スギ・ヒノキの人工林に対して花粉発生源対策を引き続き行っていく。